

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	入居者同士の関係が損なわれないよう声掛けを 行ないそれぞれでの会話やコミュニケーションが 取りやすいように席の配置など配慮している		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて情報の提供を行なえるよう配慮して いる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	可能な限り配慮している	入居時や家族の面会時のアセスメントを通して 思いを把握するようにしている。職員は、日常の 会話や関わりの中で思いや意向を把握するよう にしている。希望により、好みの飲み物を定期的 に配達してもらうようになった事例もある。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	入居時の情報と本人・家族からの聞き取りを行 ない生活の把握に取り組んでいる		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日々の業務日誌・個人記録等で状態の変化に気 づけるよう配慮している		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	現状に沿いホームでの生活に満足できるよう配 慮している	介護計画は、基本6ヶ月毎の見直しと心身の状 態変化に応じて見直しをしている。モニタリング にて介護記録等を基に職員と計画作成担当者 で話し合い、現状の確認を行い、意見や提案を 収集し、ケアプランに反映させている。	
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りの為の記録を複数準備して、その時々 状態に応じた記録ができるように考えている		